

平成 17 年度第 6 回（9 月）理事会議事録

◇日 時：平成 17 年 9 月 8 日（木）午後 6 時 35 分～8 時 35 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、吉本、運天、高田、竹浦、大垣、岡本、清水、荒木、田畑、井戸田、山田、東野、田中

◇欠席者：高橋、山内、出野

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（8 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

①総務関連

- ・ 組織実態調査及び会員意識調査を実施した。
- ・ 日韓交流功労者表彰被表彰者で山名正夫氏を推薦した。

②学術関連

- ・ 研究研修部の改定（H18 年度から）を行った。

③渉外関連

- ・ 教育実態アンケート調査を実施予定した。

④国際関連

- ・ 第 2 回 AAMLS 学会での日臨技フォーラム演者の打合会を 8 月 6 日に開催した。

2. 近臨技

- ・ 9 月 3 日に地区会長会議及び近臨技理事会を開催した。
- ・ 日臨技への要望事項として、女性部会、臨床検査振興協議会（4 団体参加）への参加、チーム医療推進、選挙制度、精度管理等に関する意見が提出された。
- ・ 輸血管理加算に関する研修会を関西 3 ヶ所で開催する。
- ・ 近臨技学会を他団体との合同開催に向けた協議会を立ち上げる。
- ・ 近臨技学会及び付随開催されるチーム医療実践セミナーについて順調との状況説明がなされた。

3. 事務局

総務部 部会開催（8 月 9 日）

庶務

- ・ 9 月理事会の開催準備を行った。
- ・ 社団法人設立 20 周年記念式典の開催準備を行った。
- ・ 個人情報保護に関する誓約書について検討した。
- ・ 会員名簿及び会報の発行工程について確認した。
- ・ 大阪大学からのホームページ掲載依頼原稿の採用について協議した。

会計

- ・ 7 月度収支計算書を作成した。

広報

- ・ 大臨技ニュース 9 月号を発行した。
- ・ 会報 191 号を発行した。

- ・健康食品管理士認定協会の案内文書を会報に織り込むとする件について、青雲堂印刷所の手違いにより同封されなかったため、各施設宛には、後日に青雲堂からの詫び状を添えたリーフレット再発送を青雲堂負担で行った。
- ・ホームページを更新した。

渉外部 部会開催（8月12日）

- ・後期事業における進捗状況を確認した。

4. 事業局

情報組織部 部会開催（8月25日）

- ・10月開催予定の原価管理講習会について協議した。

地区事業部 部会開催（8月17、26日）

- ・後期開催予定の中央支部自由集会はクリニカルパス部会と合同で開催することを確認した。
- ・2月開催予定の第8回大臨技フォーラムの企画について各支部との意見交換会を開催した。

学術部 部会開催（8月26日）

- ・今回、報告なし。

Ⅲ. 他、報告

1. 教育機関との懇談会について

8月30日に開催し、来年度事業として7月15日を予定日とし学生を対象とした講演会の開催について合意した。今後は学術部を大臨技担当部会とした。

2. 大阪府薬剤師会・栄養士会との合同事業「府民健康フォーラム」の進捗状況について

11月26日に大阪市中央公会堂にて開催される。プログラム、宣伝・申込、等の説明がなされた。

3. 堺市教育委員会主催研修会への講師派遣について

8月25日に堺市の養護教諭を対象に開催され、今井副会長が尿検査について講演した。

4. 大放技との合同事業「合同フォーラム」の進捗状況について

18年1月21日に関西医科大学附属滝井病院6階講堂にて開催する。講演候補者及び当日タイムスケジュールの説明がなされた。

5. 会員名簿再発行の進捗状況について

原川事務員による校正作業は終了したので、9月13日の総務部会時に最終校正作業を行う。

6. 大阪府衛生検査所精度管理委員会委員の交代について

大阪市立大学病院・森田氏の後任として同院・福田氏を推薦した。

7. その他

- ・日臨技から選挙管理委員会委員の推薦要請があり辻副会長を推薦した。
- ・10月2日開催の病院学会へ、今井副会長、竹浦理事、井戸田理事を派遣する。
- ・第45回近畿医学検査学会の一般演題座長候補者名が報告された。

Ⅳ. 議題

1. 「法人設立20周年記念式典」について

- ・吉本常務理事より委員会の役割分担、タイムスケジュール、当日役割分担等について説明があり了承された。
- ・知事賞候補者選考基準について説明があり、高橋雅志氏、田中建一氏、大垣孝雄氏、吉本勝美氏、近藤弘氏が推薦され了承された。
- ・担当役員は次回理事会までに参加予定者名簿を整備する
- ・各部署は9月24日までに傘下の世話人出席者名簿を井戸田理事へ提出する。
- ・早急に官公庁及び式典・祝賀会での祝辞・挨拶依頼者への列席依頼文書と他来賓者一覧を作成する。
- ・式典案内状の作成は岡本理事を担当とする。
- ・記念式典の収支予算書は10月4日開催の実行委員会で検討し、作成は荒木理事を担当とする。

2. 記念式典における会長賞の被表彰規定について

学術に関連する被表彰者の推薦は学術部に一任し、職能に関連する被表彰者は他部からの推薦とし、候補者について次回理事会で決定する。

3. 各部署保有の会員情報の現状調査について

個人情報収集状況調査書の原案提示と調査回収の必要性について説明がなされ承認された。対象者は誓約書の要提出者全員とした。末端には各部長が情報の提供と回収を行う。会員宛広報として大臨技ニュース11月号に掲載する。

4. 18年度各部署事業と定期総会時事業について

- ・各部署担当の事業計画・予算（案）は11月理事会に提出する。
- ・学術部組織を、臨床化学検査部門、免疫血清検査部門、生理検査部門、病理細胞検査部門、一般検査部門、血液検査部門、微生物検査部門、輸血検査部門、検査管理部門、チーム医療部門の計10部門とする再編成案が提出され、学術部内で検討される。
- ・学術部各部門は日臨技生涯教育研修制度のA評価・B評価に相当する事業を年度に一度は企画する。
- ・健康展は引き続き地区事業部が担当する。
- ・大臨技フォーラムを年2回の開催に戻し、6月は地区事業部が、7月は学術部が学生向け教育セミナー、をそれぞれ担当する。
- ・3月の定期総会時開催前後時に施設連絡者会議を開催し出席者の増員を図る。

5. その他

- ・第47回近臨技学会の企画調査を目的として、第45回近臨技学会の開催地に理事・部門長を派遣する。

以上